

国立市コミュニティワゴン試行運行 平成 28 年度の進め方について

試行運行最終年度の進め方（案）は以下のとおり。

■ 1 スケジュール

・ 4 月 8 日 **国立市地域公共交通会議（H28 第 1 回）（本日）**

・ 5 月 国立市地域公共交通会議 福祉交通検討部会（第 3 回）
～高齢者・しょうがいしゃ・子連れ対応の交通等

■ 6/1 目標：青柳ルート通勤対応実施

・ 6 月 **国立市地域公共交通会議（H28 第 2 回）**

・ 7 月 福祉交通検討部会（第 4 回）
～地域生活支援の移動について検討、中間とりまとめ

・ 8 月 福祉交通検討部会（第 5 回）～（第 4 回と同じ）

～ 9 月 福祉交通検討部会（第 6 回）
～福祉的な交通のワークショップ、市民意見募集

・ 8 月 **国立市地域公共交通会議（H28 第 3 回）**

～福祉交通検討部会結果報告、くにつこバス IC 対応（1 円単位の収受が可能になるので消費税対応を図る）を合意。

■ 9/1 目標：泉ルート見直し三中組み込み、矢川・東ルート見直し天神下組み込み

・ 9 月 **国立市地域交通計画推進庁内検討会開催**

・ 10 月 福祉交通検討部会（第 7 回）～最終回。福祉的な交通のまとめ

・ 10 月 **国立市地域公共交通会議（H28 第 4 回）**

～福祉交通検討部会結果報告・合意

・ 12 月 **国立市地域公共交通会議（H28 第 5 回）**

～コミワゴン一次評価

■ 11 月 コミュニティワゴン試行運行市民報告会開催

・ H29/1 月 **国立市地域公共交通会議（H28 第 6 回）**

～コミワゴン最終評価実施、休廃止の合意、その後の対応方針検討

■ 2 月 コミュニティワゴン試行運行市民報告会。

■ 2 見直しについての考え方

(1) 前提条件

a)経費の削減検討

- ・ 現行の予算額は超えない
- ・ 運行日・運行時間の検討
- ・ 人件費削減方策の検討

b)通勤対応について

- ・ 朝の通勤客対応についての検討
- ※帰りの時間は別手段で対応（コミュニティワゴンの運行時間帯拡大はしない）。

(2) 各ルート別の検討

a)青柳ルート（案）

- ・ 朝の通勤対応として始発を矢川駅発（武蔵野の路 7：40 発を⑨矢川駅 7：32 発に変更可能）に変更。（「軽微な変更」であることから 6 月 1 日目標で実施可能と考えられる。）

b)泉ルート（案）

- ・ 矢川駅発着を基本にする（福社会館を終点にしない）。
- ・ 第三中学校周辺（谷保ルート）を組み込む（第三中学校北側道路が狭いので中学校東で終点とし、改めて中学校西から運行）
- ・ 結果的に増便が可能（計 21 便。うち 5 便が第三中学校周辺）

c)矢川・東ルート（案）

- ・ 通勤対応として朝に「東地域→谷保駅北」を 2 本新設して、動向を調査する。
（この時間に運行すれば、例えば南武線利用で JR 川崎駅に 8 時台に到着可）
- ・ 天神下を組み込む。（矢川・東ルート計 11 便、うち 4 便が天神下）
- ・ 全体的に 10 分ほど繰り上げ、⑱多摩蘭坂停留所からの武蔵台学園通学と、福社会館利用者に配慮する。

以上、泉ルートと矢川・東ルートの見直しについては、改めて交通管理者の実査などを実施したうえで 6 月予定の交通会議に提案する。（合意の場合は、夏の終わり頃に実施を検討）